

# 5階病棟

## <診療科>

整形外科 皮膚科 総合診療科

## <病床数>

59床

## <職員数>

看護師 33名

看護補助者 5名



## 部署目標

1. 多職種と協同し安全で安心な療養生活を提供し退院後の生活を見据えた円滑な退院調整に努めます。

## 部署紹介

5階病棟は昨年度まで整形外科、脳神経外科の2科の患者さんが入院している混合病棟でしたが、脳神経外科の撤退のより病棟編成が行われ、皮膚科と総合診療科（脳出血）の3科になります。

整形外科は多岐に渡る骨折や脊髄炎など各種整形外科疾患の手術・治療に対応しています。入退院や手術件数も年々増加しており昨年度は前年度を上回る手術件数となりました。手術後は早期からリハビリテーションを開始し、運動機能の回復に向けて排泄はトイレ誘導をし、病室にはポータブルトイレを設置しないことで倫理的配慮にも心掛けています。また、大腿骨頸部骨折患者さんは、地域連携クリニカルパスにより、地域病院と継続した医療の提供を行なっています。

皮膚科は皮膚腫瘍や褥瘡、熱傷、各種手術治療などを行なっています。

総合診療科（脳出血）は、自立への援助に向けて、早期にリハビリテーション（理学療法、作業療法、言語・摂食嚥下療法など）を行っています。中でも5階病棟には摂食・嚥下障害看護認定看護師が在籍しており、後遺症による嚥下障害の患者さんに早期に摂食訓練を開始し、「口から食べること」の喜びを与えることで回復に繋げています。又、ご家族の希望に沿った社会復帰に向け、脳卒中クリニカルパスを活用し、回復期リハビリテーションの連携を図っています。

5階病棟のスタッフは日々多忙な業務の中でも専門性を発揮し、やり甲斐を持って勤務しています。元気で明るい病棟ですので、これから一緒に頑張っていきましょう。

